

ナメクジウオの分類

頭索動物のナメクジウオ類は、ナメクジウオ属 *Branchiostoma*、カタナメクジウオ属 *Epigonichtys*、およびオナガナメクジウオ属 *Asymmetron* の 3 属からなり、約 30 の種が現存する。

そのうち *Branchiostoma* 属は、分布が広く他の 2 属より個体群密度も高い。そのため、研究の歴史が長く、いろいろな研究に広く使われ、情報も多い。日本産の *Branchiostoma* は、最近、和名がヒガシナメクジウオ、学名が *Branchiostoma belcheri* から *B. japonicum* に変わり、長らく使われていた *B. belcheri* は中国アモイ産のナメクジウオの学名として限定的に使われるようになった。今後、日本産のナメクジウオを使う研究には、*B. japonicum* の使用が奨励される。分類変更の経緯は、東邦大学・西川輝昭教授のホームページにわかり易く解説されている。

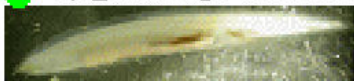
amphioxus という英名は *Branchiostoma* 属を指す言葉で、lancelet がナメクジウオ類に共通の英名であるが、最近の論文では amphioxus と lancelet が混在している。しかし、*Branchiostoma* を指す場合は、どちらの使い方も正しい。網羅的に論文検索したい時は、amphioxus OR lancelet OR Branchiostoma (Pubmed の書式) とするのがよいだろう。

このホームページでは、ヒガシナメクジウオ *Branchiostoma japonicum* を単に「ナメクジウオ」として記している。

日本産ナメクジウオの種類と分布

カタナメクジウオ

● *Epigonichtys maldivensis*



オナガナメクジウオ

● *Asymmetron lucayanum*



ナメクジウオ(ヒガシナメクジウオ)

● *Branchiostoma belcheri*



ゲイコツナメクジウオ

● *Asymmetron inferum*

世界で
唯一の生息場

